学校だより

北海道中札内高等養護学校幕別分校
令和４年６月１７日（金）
第　２　号

〒089-0615 中川郡幕別町南町 81 番地１
電話　０１５５－５５－２１２１
ＦＡＸ０１５５－５５－２１２２

開校から１０年

教頭　齊藤　健太郎

幕別分校には他の十勝管内高等支援学校にある「工業科」「農業科」等、特定の仕事に特化した学科や設備はありません。設置されている学科は複数の作業種を履修する「産業総合科」という学科で、生徒は校内でできる作業種（清掃、裁縫、袋詰め等の軽作業）以外は地域の事業所に行って実習します。つまり「木工科」「家庭科」などが設置されている学校のように一つの領域を深める学習はできませんが、多様な職場や作業種を経験できるということが幕別分校の大きな特徴となっています。様々な職場や作業種を経験することのメリットとしては、「知識や技能の幅が広がる」「進路を考える際の幅が広がる」「働くこと一般に共通して求められる態度やマナーについて理解を深められる」などのことが考えられます。テクノロジーの急速な進化や社会構造等の変化により、近い将来、労働環境は現在のものとは大きく様変わりすると言われているので、特定の労働環境や作業種を前提としていない幕別分校の作業学習は、これからの時代に合ったものだといえるでしょう。

さて、幕別分校の開校準備が始まったのは東日本大震災翌年の 2012 年(平成 24 年)で、初めての新入生を受け入れてから１０年目となります。これまで幕別分校を卒業した方は８１人で、ほとんどが地域で働いています。

幕別分校が開校以来、多くの素晴らしい卒業生を輩出できたのは、実習を受け入れていただいた数多くの事業所や、様々な面でサポートしていただいた幕別町をはじめとする多くの存在があったからだと思います。これからも幕別分校をどうぞよろしくお願いいたします。

キャッチフレーズは生徒が考えました。マークは生徒の原画を教員がデジタル画像化して作成しました。

2学年　春の現場実習

昨年度はコロナウィルス感染症の影響で思うように実習に行くことができず、近隣の農家さんで作業をさせていただきました。

今回、初めて企業に行き仕事をする現場実習を行いました。

生徒は引率の先生がつかないことや自分で JR やバス等を使い実習先に行き、自分で帰ることなど様々な初めてにチャレンジしました。

今回の実習での大きな収穫は１０名全員が休むことなく２週間チャレンジし続けたことです。みんなの自信になったと思います。

この実習に際してご協力いただいた企業の方々や保護者の方々に感謝者申し上げます。ありがとうございました。

現場実習担当：松　橋

3学年　労働週間

５月 23 日から５月 27 日までの１週間、３学年にとって最後の労働週間を行いました。１日６時間の作業時間、主に清掃作業・農作業に取り組みました。校内清掃では、各教室の窓、壁、床清掃を行いました。校外清掃は初めてでしたが、町内の寿町近隣センター、鉄南ふれあい交流館、JR 幕別駅、パークプラザの清掃をさせていただきました。

今年度始まってから清掃作業に取り組んだ学年ですので、実地の清掃はほとんど経験がなく、道具の準備や清掃の順番などスムーズにいかない出だしでしたが、日に日に仲間と話し合う様子が増え、作業の効率も上がってきました。また、先生方や地域の方からの感謝や称賛の言葉に、「清掃して良かった。」「もっときれいに掃除したい。」と、仕事のやりがいを感じられることもできました。

これからはそれぞれの進路実現に向けて動いていきます。今回の貴重な経験を生かして、今後の指導につなげていくとともに、地域と一緒に作業学習に取り組んでいきたいと思います。

労働週間担当：長谷地